

耐震診断の結果の見方（「耐震診断の結果」と「附表」の関係）

「耐震診断の結果」と「附表」を用いて「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性」を確認することができます。

耐震診断の結果								
No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
	〇〇小学校 〇〇棟	〇〇市〇〇1-1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」	Is/Iso値=1.23 C _{TU} ・S _D 値=0.41	-	-	Is=0.75として診断 U=1.25として診断

①耐震診断の結果の耐震診断の方法の名称を
附表から確認します。

②安全性の評価の結果と附表の区分を比較することで危険性
について確認をすることができます。
(当該結果の場合、Ⅲに該当し「危険性が低い」となります)

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。)	II (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。)	III (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。)
(5)	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」	Is/Iso < 0.5 又は C _T ・S _D < 0.15	左右以外の場合	1.0 ≤ Is/Iso かつ 0.3 ≤ C _T ・S _D ≤ 1.25
		Is/Iso < 0.5 又は C _{TU} ・S _D < 0.15・Z・G・U	左右以外の場合	1.0 ≤ Is/Iso かつ 0.3・Z・G・U ≤ C _{TU} ・S _D

※震度 6 強から 7 に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示します。

※いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度 5 強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。

※耐震診断の結果の備考に記入のない場合は、Is=0.6、Z=1.0、R_t=1.0、G=1.0、U=1.0 とします。